



展示会 開催宣言!  
第94回東京インターナショナル・  
ギフト・ショー秋 2022

# EVENT 86 MARKETING

発行所: 株式会社 MICE 研究所  
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 4F-A  
TEL.03-6721-5303 sof@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp

## 超宇宙時代、価値はどうつくる？



僕らの生まれてくるずっとずっと（ちょっと）前にはもう、アポロ11号は月に行っていたのにな。そのまま月開発はどんどん進み、大人になるころには、みんなで月に移住するのかもしれない。でも、不幸な事故があったり、大人の事情で、ようやく50年経って超お金持ちの人が月旅行に行きたーい。

アルテミス計画では2025年に再び月面着陸

し、飲み物と燃料も探してみたい。今度は本格的に宇宙時代に向かっていきそうだ。

いま僕らの周りで話題になっているメタバース。語源は「超(meta)」と「宇宙(universe)」の組合せ。宇宙開発よりも、スピーディに超宇宙の世界ができていて、いまはその開拓時代だ。バーチャル空間で、交流したり、アートやコンテンツを作ったり、モノを売った

り買ったり、1つの経済圏、いや新しい世界がいくつも誕生する。

バーチャルなのは空間だけではないかもしれない。なにが本物でなにがバーチャルか、そんな境界線があいまいになる時代になるのだろう。攻殻機動隊という作品のなかで、自分の子供時代や家族の記憶が、すべてつくられた偽物の記憶だったという話がある。

人間とロボットの違いつてなに？リアルである自分が存在する意味とは？バーチャル上に存在するモノや人格、空間、人とのつながり。その価値をどう考えるかがいまの課題。と同時にこれまで当たり前だったリアルでの価値を、もう一度考え直すことが必要だろう。Face to Faceを科学する。そのタイムリミットが迫ってきた。

オンラインでも オフラインでも、  
**ビジネスイベントのお悩みは  
イベントレジストにお任せください!**

**EventRegist** イベントレジスト株式会社  
https://eventregist.com

資料請求・お問い合わせ  
contact@eventregist.com



### 申込受付を統合管理

- ・ウェブ事前受付、オンライン決済
- ・イベントへのスマートチェックイン
- ・動画、ライブ配信の申込者のみの視聴制御



### ワンストップで対応可能

- ・企画 ・会場手配 ・デザイン / 施工
- ・運営進行 ・撮影 / 映像 / ライブ配信
- ・申込サイト制作



### ビジネスイベントの実績多数

- ・カンファレンス ・セミナー ・展示会
- ・ウェビナー ・オンラインイベントなど



# リアルとメタバース

## それぞれの空間デザイン戦略

バーチャル空間、ブロックチェーン、NFT、web3 と技術や環境整備が進むメタバース。一方、コロナ禍の影響から脱してきたリアルイベント。それぞれの技術が進んだことにより、空間が再定義され、空間デザインの新しい形が生まれている。第一線で活躍するプロたちにその個性的な空間づくりのポイントをうかがった。



XR 総合展 / Art + in YomiuriLand HANA・BIYORI

### 体験提供の期待値に 応える緻密性と演出力

プロジェクションマッピングなどリアルイベントの映像演出をてがげるシンシティグループ。その空間デザインはどう進化しているのか。

高付加価値な映像演出が得意なシンシティグループでは、これまで緻密なモデル制作ができる「Maya」「3ds Max」「Cinema 4D」で映像を制作していた。ゲーム開発に広く使用されている3D制作プラットフォーム Unreal Engine の新バージョンで、数億ポリゴンを超える映画品質のモデルが使用できるようになった。

それにより映像制作から映像送出版までレンダリング不要で、インタラクティブに高品質な3D空間を創り出す。

自宅でヘッドマウントやヘッドフォンを使って仮想空間に没入し、リッチなバーチャル体験に慣れたユーザーに、会場に足を運んでもらう。ハードルが上がった課題に、イベントが再開してきたいま、長崎さんが挑戦する。

#### 音響会社のグループ化と 没入感を向上する XR

没入感を出すために映像と同じくらい大切なのが音響品質だ。どこから音がでて、どちらに移動するのか。その世界に入り込ませる

のが立体音響。以前はスピーカー2つで済んでいた現場でも、10個ほど設置することもある。音源も多チャンネルで収録しなければならないし、音場の制御設計は特殊な技術だ。熟練の技が必要な音響技術の向上のため、今年6月に有限会社プレストーンをグループ化した。

もちろん映像演出も大きく進化している。グリーンバックを用いたクロマキー合成から、LEDバックを用いることで会場での参加者にも背景合成を楽しめるようになった。配信映像では、背景の映像を拡張して、広い空間の中に出演者を映し出すことが可能だし、映像エフェクトを使った配信ならではの演出もできるようになった。

今年4月に出展したXR総合展の自社ブースでは、ベアシストによるXRのライブパフォーマンス「XR Studio - Cross over -」を実施。トラッキングカメラを導入し、カメラ位置や角度に応じて背景映像や演出効果も追従することで、本物か映像か区別がつかない緻密な融合空間が、来場者の目を奪った。



上) XR 総合展では、LEDバックの演出をXRで拡張して配信  
下) Art+は、名作絵画の世界観を空間に展開

#### テクノロジーだけじゃない 企画と演出力が差をつける

多くのイベントがオンライン化した際に、課題となったのが離脱率。ウィンドウを閉じるだけで会場を抜け出す“気まずさ”がない上に、ウェブ上の行動は詳細なログが残る。その解消には技術より、演出の工夫が効果を発揮した。2～3分ごとに見せ場をつくり、参加感を出す投票などの手法を活用した。

会場でのイベント実施でも、一定時間を快適に楽しんでもらうためのストーリーづくりが必要。グループ企業のシムディレクトは映像制作でなく、映像のある空間をプロデュース。顧客との窓口として、その要望に応えるため、映像、音響、照明だけでなく、会場の選定、装飾など空間の価値創造を行っている。

同社が展開しているのが、「Art + in

YomiuriLand HANA・BIYORI」だ。印象派の絵画を、大型映像と立体音響、照明演出で、デジタルコンテンツで表現。絵画の要素を切り取ったり、重ねたり、どこにフォーカスするかなど、来場者それぞれの解釈を楽しむ、きっかけを与えている。アートの深遠な魅力を、エンターテインメントの楽しさで広げる。

長崎さんは「海外のようにクリエイターだけでなく、プロデューサーが評価される時代にしたい」と語る。バーチャル・リアルと多様な要素が入り混じる新しい空間は、多くの才能をプロデュースする力がついている。



長崎 英樹さん  
シンシティグループ  
株タケナカ専務取締役





## 東京インターナショナル・ギフト・ショー 石川県ブース

空間デザインは心理戦  
物理的制限が武器になる

シンプルなデザインながら、いつも多くの来場者を集める SUPER PENGUIN デザインの出展ブース。そのしなげを聞いた。

ブース内の配置はセオリーから外れているようにも見える。展示台をすべてブース内側に向け、来場者が歩く通路を背にしている。多くの人の目に展示品が見えるように陳列したいところだが…。

「展示台の向きではなく、出展者の待機する場所がポイントです。展示台の傍に立つとブースの入口を塞いでしまい、中に入りづらい。来場者がみんな遠巻きに見ている、ということになりがちです」と竹村さんは言う。

その代わりにブース中央にカウンターを設けて、出展者はそこに待機。空いた通路から来場者が入ったら展示台に移り対応する。出展者はユニフォームではなく私服を来ている。カウンターにいる出展者は来場者のようにも見え、人が人を呼ぶ効果で賑わいができる。



入口付近にパンフレットを置き誘導する。

また壁やタペストリーで上部を隠しているのは、視線を下側にある展示台に集中させるしくみだ。シンプルなデザインのなかに、集客戦略が無数に埋め込まれている。

建築・インテリア出身の竹村さんの発想は、造作物をつくるのではなく、人の心と身体の動きをデザインすること。リアル空間の物理的制限が、人を誘導するツールとして活用されている。



竹村 尚久さん  
SUPER PENGUIN (株)  
代表取締役

ブースの壁や造作でなく  
身体と心の動きをデザイン

展示台の背面でブース全体を囲むようにすることで、ブースから出づらく滞留時間が伸びる。中の見えづらいブースに引き込むために、

## HR系 Saas 企業出展ブース

企画から運営までワンストップ  
最適化を図り、目標達成する

業務の標準化により部署間異動がスムーズな昭栄美術。営業からクリエイティブに転身した高橋さんがデザインするものは？

単なる数ではなく、部門や役職など細かくセグメントされたリード獲得数や商談件数など、売上につながる年間 KPI を顧客と共有する。昨年度まで営業を担当していた高橋さんらしく、顧客のマーケティング・営業目標達成に伴走するのが得意のスタイルだ。

注目を集めるデザインだけでなく、出展効果を高める運用も提案。コストバランス最適化のため装飾予算を削ることもある。施工だけでなく、クライアントに提供する価値が自社のブランド力になるという考えからだ。

ブースのレイアウトも運用面から考えはじめる。1本の大きな動線に来場者をセグメントする場所をつくり、その後、各部署の担当者につなぐための設計をする。問題点を発見するために自身がブースに立つことも多い。



顧客の SDGs への貢献が評価されている。

「この部材を変更すればトラック 1 台減らせる」といった提案も、施工管理の経験が豊富な高橋さんなら可能だ。会場入口からの誘導だけでなく、有力企業のブースやセミナー会場などの人の流れを利用した設計をするのも、展示会場の施工実績豊富な同社のノウハウといえる。1つを極めるより、多くのことを一通り経験して、仲間の苦労や想いを理解しようとしてきた高橋さん。点と点がつながるときに、デザインする力もさらに向上するだろう。

自社の強みを活かした  
独自の提案が結実

顧客の目標に沿うだけでなく、自社の強みも活かしている。年間契約が多いのは、造作を再利用する同社の「ユニットプラン」による



高橋 祐也さん  
株昭栄美術  
クリエイティブ部  
プランニング課

**NISHIO**

RA(イベント)部門の  
新しいWEBサイトが  
OPENしました!!

<https://www.nishio-rent.co.jp/rentall/>

TOTAL POWER by NISHIO

展示会・イベントの  
持続可能な未来を目指して

国内最大級の  
ディスプレイ製作  
スタジオ

プロジェクト企画  
ワンストップの製作体制を完備  
デジタル施策  
装飾・施工  
イベント運営  
空間設計  
ビジュアルデザイン

SHOEI  
THINK YOUR VISION

株式会社昭栄美術  
〒104-0044 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー25F TEL:03-5148-6651



## ジャパンインターナショナルポートショー 2022 Honda ブース

# 来場者をワクワクさせるブース演出制作には蓄積したノウハウを注入

3月31日からパシフィコ横浜で開催された「ジャパンインターナショナルポートショー 2022」で本田技研工業が出展。製品である船外機の展示だけでなく、ボート本体と合わせた展示やアウトドアシーンの演出が注目を集めた。

### リアルな利用シーンを提案 マリンレジャーの魅力

1級船舶免許をもち、マリンスポーツやマホガニー製ボートの魅力を語るサクラインターナショナルの細田さん。ジャパンインターナショナルポートショー 2022 の Honda ブースの企画・デザインの担当者だ。

オール Honda で持つ様々な商品を活用した展示に変わった

ことや、船の動力も一部では電動化が進み、Honda も小型電動推進機コンセプトモデルを参考出品したこともあり、今回のブースは少し様相が違った。

ほかの大手メーカーも船体や船外機を展示している中 Honda ブースは利用シーンをよりリアルに再現し、木造の棧橋に係留させるといった凝りようだ。

「ライトユーザーへの訴求にも今回は力を入れる」というクライアントの要望を受け、N-BOX や釣り、キャンプなどでのリアルな利用シーン展示も注目を集めた。

アウトドアブランドのブランケットメーカー「Rumpl」のアイテムは、「趣味の延長線上のようなもの」と細田さんが今回のコラボレーションを提案・実現した。クライアントも私物のキャンプ用品をブースに提供することによってリアルなシーンを演出。

### 空間づくりのノウハウ サクラらしさも注入

アイキャッチであるキャンプエリアから、棧橋とボートへ誘導する動線計画、ディテール



アウトドアブランドとのコラボや私物も持ち込みリアルな利用シーンを演出

に拘わり臨場感を出した棧橋などの木工、システム部材を併用した装飾演出、安全面に配慮した施工など、楽しさだけでなく同社の空間デザインのノウハウもブースのあちこちで詰まれている。

会場では、キャンプエリアがフックになって多くの来場者が集まった。ワクワクさせる空間づくりが多くの人を楽しませた。ブース内では多くの人が写真を撮っていて、急遽、SNSへ拡散 OK のパネルを作成した。

Honda ブースはオンライン出展も行っており、そちらも 3D デザインを手がけた細田さんはじめサクラインターナショナルのメンバーが、撮影班に 20 か所以上のビューポイントの指示をだしたことで、ファンを楽しませるものに仕上がった。



細田 憲之さん

サクラインターナショナル(株)クリエイティブ&オペレーション本部 東京デザイン部 次長

## Innovation Space DEJIMA

# 3次元と時間軸でコミュニケーションの余白を再現

DX 戦略と共創事業創出する伊藤忠テクノソリューションズと、空間づくりを通して事業の課題解決をサポートする丹青社が手がける、スタートアップと大手企業との共創を支援する Innovation Space DEJIMA。その施設がバーチャル空間に再現された。その狙いと手法とは。

### デジタルツインで 交流とアイデア出し

リモート会議やウェビナーでは再現できないコミュニケーションの余白こそが、オープンイノベーションに求められるアイデア出しやネットワークづくりに必要だ。余白とは情報伝達の最短距離をいくのではなく、リアルさながら参加者を入り口で出迎え会話をしながら会場へ…といった、情報との出会い方。3D空間や時間軸のあるなかで生まれた物語性、偶然性が新しいつながり、共創をつくる土壌になっている。

バーチャル空間のデザインは、五反田に構えるリアルな「Innovation Space DEJIMA」も手がけた丹青社が、設計時の 3D データを用いて再現。照明器具や空調機器などバーチャルには不要なものも備えるデジタルツイン手法で、臨場感と手触り感を出す。

### 2回の実証実験で 体験提供や行動解析を

DEJIMA Digital はこれまで 2 回の実証実験を行っている。1 回目は両社の活動を紹介する展示イベントをアプリダウンロード形式で実施した。リアル会場の参加者の位置情報をセンサータグで計測。その動きをバーチャル空間にいるアバターに反映させ、双方の参加者が交流と行動解析を実施した。会話はアバターの上に打ち込んだメッセージを表示する方式。登壇者のようすはアバターだけでなくカメラ映像をバーチャル上でも共有し、表情や



スタートアップと大手企業の共創をリアルな場とバーチャル空間でサポート

雰囲気が変わり共感性を高めた。

2 回目の実証実験はブラウザベース、マウスのみでの簡易操作の UI を採用。ボイスチャットでの会話も行った。アプリ並みの高精細なグラフィックで、リッチな体験を提供した。

参加者からは、「ストレスのない新しい体験」、「程よく匿名性のあるアバターによって会話が進みやすい」といった感想が寄せられた。今後も、DX を軸として、空間コミュニケーションに、その先の発展を見出す余白や偶発性を生み出すことに挑戦していくという。



五十嵐 知宏さん(写真左)  
伊藤忠テクノソリューションズ(株) / Innovation Space DEJIMA プロデューサー

山下 純さん(写真中央)  
(株)丹青社 デザインセンター デジタルデザイン局 チーフクリエイティブディレクター

大久保 玲亮さん(写真右)  
(株)丹青社 デザインセンター デジタルデザイン局 デザイナー

## ハイブランドのパーティー

# 個性的な空間つくる品揃えに 新ブランド LUFU も加わる

高級車やスポーツイベントの VIP ルームなど、最上級のおもてなし空間に、家具などを提供しているモニック。デザイン性と品質の高さで個性的な演出を可能にしている。

### 優美な空間を演出する 家具をアクセサリー

イベント主催者や制作会社がイメージする世界観を創造するため、施工・映像・音響・照明・レンタルなどさまざまな業種の企業が一同に会し、参加者に特別な体験を提供する空間を作り出す。「会場にいらっしゃる皆様に感動を与えるのがリアルイベントでの私たちの役割

とモニックの柴崎さんは話す。

その作り出された空間で唯一、来場者が直接触れるのがレンタル家具。そのため高級感、カジュアルさ、先進性など、イベントの雰囲気左右するアイテムだ。

モニックは多種多様なイベントの個性に合う豊富な家具を揃え、空間演出を邪魔しないシンプルな家具、家具そのものがしっかり主

張する製品で演出する。

また新たな展開として、「商品が古く品質に問題がある」「保有在庫が少ない」「レンタル価格が高い」、と思われがちなデザイナーズ家具を気軽に利用できるように新ブランド「LUFU」を昨年 10 月に立ち上げた。優れた意匠性と機能美が特長となっている。

ラインナップの中にはテーブルやチェアなどに加えて、新たな潜在商品としてデザイン照明を多数商品化した。照明ひとつで場を演出できるアイテムが、心地よい調和の空間を創出する。

「LUFU」は「誰にでも、空間を Make Luxury できる」というコンセプトをもとに展



写真は、企画・運営を手がけた(株)サルインターナショナルが提供

開をし、今後もイベントを彩る豊富なラインナップを拡充していく。



柴崎 栄二さん  
モニック(株) 営業部部長



## 「METAVERSE EXPO JAPAN 2022」レポート

“共創”テーマに  
オープンなメタバース構築へ加速

7月27日(水)・28日(木)の2日間、メタバース関連プロダクト・サービスの展示や有識者が集まり「METAVERSE EXPO JAPAN 2022」が開催された。メタバースに向き合っている企業・有識者のビジョンや現在の取り組みが共有されたカンファレンスでは、どのような方向性が見出されたのだろうか。

主催のMeta日本法人Facebook Japan 代表味澤将宏さんのコメント、会場でのトークセッション、展示からレポートする。



Meta

Facebook Japan  
代表取締役

味澤 将宏さん

— METAVERSE EXPO JAPAN開催の経緯を教えてください

**味澤** 弊社は昨年コーポレートブランドを変更し、メタバースの構築に寄与することに注力しています。インターネットと同様にメタバースも一社だけで構築していくものではなく、さまざまなプレイヤーが参加し協業することで、よりオープンなメタバースは実現できると考えています。

日本は、VRやARといった新しい技術に対する利用者の期待が高く、トップクラスのIPを開発する優秀な開発者が多いことから、メタバース構築において最も重要な市場の一つです。

本エキスポでは“共創”をテーマに掲げ、日

本のメタバースビジネスを牽引する企業や団体、専門家、官公庁と共に、メタバースの現在、そして将来像を発信し、業界内の動きを加速させることに貢献したいと考え、エキスポの開催に至りました。

—今回招待制ですが、参加対象者とした業界や注力された分野は?

**味澤** 特定の業界や分野に限ることなく、幅広い業界の皆様と連携をし、メタバースの構築に寄与していきたいと考えています。

今回のエキスポでも教育・福祉分野での活用についてのセッションを実施しましたが、メタバースにはゲームやエンターテインメントだけでなく、ビジネス、医療・福祉、教育などの

幅広い領域で大きな可能性があると考えています。

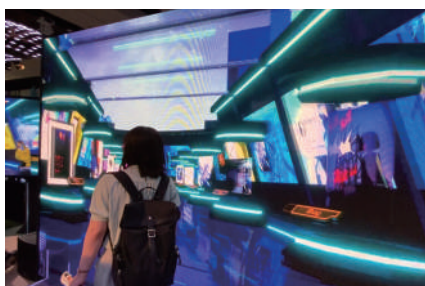
—イベント分野におけるメタバースの可能性がセッションにも多く見受けられました。今後、メタバース空間でのイベントの可能性はありますか?

**味澤** 現時点で予定しているものはございません。

本エキスポにおける今後の展開としては、オフラインイベントになりますが、今回は今年10月18日より4日間開催予定の「CEATEC 2022」内で本エキスポの内容をアップデートし、一般公開する予定です。



AMBUSH®初のメタバース空間を紹介するVERBALさん



大日本印刷ブースでは同社開発のバーチャル空間に立っているような体験を提供

メタバースのビジネス活用や価値について、身体性を持って体験、理解する機会を提供した「METAVERSE EXPO JAPAN 2022」。「正直、メタバースの活用は実際のところ、

## メタバース事業の選択肢広く

よくわからない」という声も少なくないなか、今を体験し、現在地を確認することで、ビジネス機会の可能性を拡大する場となっていた。

カンファレンスで印象に残ったのは、「2年前は、NFTやメタバースのことは全くわからなかった」と話したm-floのバイリンガルラッパーで、アクセサリー・ジュエリーブランドAMBUSH®のCEOを務めるVERBALさん(写真左上)。熱量高く可能性を語っていた登壇者のなかのひとりだ。2022年4月にAMBUSH®からブランド初のNFTアイテム

POW!®の発売は話題となったが、VERBALさんは「トライしていくなかで、新しくコミュニティが繋がっていく感覚は、アクセサリーを自分で作り始めた当初『それ、いいね。僕に

もつくってよ」とミュージシャン仲間に広がっていったことを思い出す」と、ブランド創立につながったストーリーと符号すると語る。リアルなイベントでもNFTを通じたブランド体験を準備している。

展示ブースの会場は、16の企業が関連コンテンツを展示した。展示ブースのなかで、リアル×メタバースの可能性を感じたのは、大日本印刷(写真右下)。床面まである大型LEDのステージに立つだけで、メタバース空間に等身大の自分が入ったような感覚になる。ア

プリインストールやVRヘッドセット無しでも、簡単にメタバースに触れることのできる仕掛けとして、メタバース展開事業者にとっては利用者層拡大に貢献する。例えば、地域や観光資源のステークホルダーがメタバース空間を持つことで、PRやビジネスの可能性が広がると提案する。すでに同社が展開する渋谷区宮下公園・秋葉原・神田明神の3カ所のバーチャル空間をブースでは体験したが、印刷技術のリアルをデジタル化する微細・高精細さが際立つ。リアルにも送客効果を出す話。そのほか、情報を展開する圧縮技術、高いセキュリティ基盤などの強みが同社のメタバース事業を支える。

今回、大手企業が展開するメタバース事業を、カンファレンスと展示で体験して、メタバースビジネスの選択肢の多さから多岐に渡る産業で可能性の広がりを感じた。

DMM オンライン展示会 DOT  
多様なテーマで開催中!

手軽に出展  
できる展示会

No.1

DMMオンライン展示会

検索

※ 調査委託先:マクロミルが2022年2月18日~19日に「責任者・リーダーとして、オンライン展示会の出展・運営に関わったことがある」1,030名を対象にインターネットで調査



EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

イベント会場特集

次の9月30日号で特集します

会場でお会いしましょう♥



10月31日発行 映像特集・InterBEE/環境配慮とイベント  
11月30日発行 企業カンファレンス / 地域特集  
12月28日発行 社内イベントとエンタメイベント  
23年1月31日号 新年座談会・地域特集  
23年2月28日号 空間ディスプレイ特集

広告出稿の問合せはこちら▷株式会社 MICE 研究所  
info@event-marketing.co.jp

(担当:田中力)



展示会 開催宣言！

第94回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2022  
第32回グルメ&ダイニングスタイルショー秋2022  
第12回LIFE×DESIGN  
LIVING & DESIGN2022

LIVING & DESIGN が初の東京開催へ

「LIVING & DESIGN2022」が新たに加わり、4展での同時開催となる「第94回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2022」。『オムニチャンネルで、日本経済の再生』をテーマに展開する。高知などの自治体連携ブースや海外のパビリオンなども復活し、熱い商談が繰り広げられそうだ。

9月7日から9日までの3日間、東京ビッグサイト東展示棟1～6ホールで「第94回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2022」が開催される。出展企業は、1,986社（同時開催展含む。2022年8月22日現在）。徐々に海外からの参加も回復しつつあり、今回は、海外12の国と地域から305社が出展、ハワイ、韓国からは各40

社が集結し、パビリオンも復活となる。同時開催展は、「第12回LIFE×DESIGN」、「第32回グルメ&ダイニングスタイルショー秋2022」、そして「LIVING & DESIGN2022」が新たに加わり4展で開催される。

LIVING & DESIGN 初開催

初の同時開催となる「LIVING &

DESIGN2022」は、プロダクトデザイナーの喜多俊之さんが総合プロデューサーを務める、トータルインテリアの国際見本市。

これまで大阪で約14年にわたり開催されてきた。今回から「東京インターナショナル・ギフト・ショー」との同時開催で、連携を強化し日本の流通や暮らし産業に貢献、よりグローバルな見本市へと生まれ変わる、としている。

主催者の株式会社ビジネスガイド社代表取締役社長 芳賀 信享さん（写真右）「LIVING & DESIGN」総合プロデューサー 喜多 俊之さん



注目の出展社は、イタリア家具メーカーの「MAGIS」、建築資材の「オルトレマテリア」を取り扱うコバヤシ産業、タイルブランド「Maristo」を展開するアベルコや、自動水栓手洗機「アワミスト」を扱うミズタニバルブ工業、家具産地旭川を代表する家具メーカー「カンディハウス」など、家具・住宅設備・建材メーカーなど世界中から質の高い製品を持つ30社が集まる。

また、LIVING & DESIGN 特別イベントとして「木材を使った家具のデザインコンペ」を開催する。国内外から木材を使った家具をテーマ

に募集し、優秀なデザインを表彰する企画で、審査員には建築家・東京大学名誉教授の内藤廣さん、家具デザイナーの小泉誠さん、建築家の永山裕子さん、審査員長を喜多俊之さんが務める。

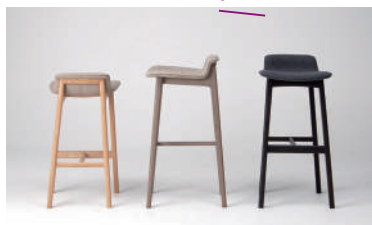
応募総数は317作品と過去最多の参加があり、会期中の9月7日には受賞作品の発表と表彰式が予定、パネル展示もされる。

「サウナフェア」に22社出展

同時開催展「第12回LIFE×DESIGN」では今回、より「心地よい暮らし」につながる、多様な趣味嗜好に沿ったアイテムや快適に過ごすためのグッズ、居心地の良い

● LIVING & DESIGN 出展ブランド (一部)

国内外から出展！



CONDE HOUSE



OLTREMATERIA



Magis

第94回東京インターナショナル  
**ギフト・ショー** 秋2022  
招待状受付中!

オムニチャンネルで、日本経済の再生を

会期 2022年9月7日(水) 8日(木) 9日(金)  
10:00～18:00(最終日は17:00まで)  
※流通関係者のみ対象です。一般の方はご入場できません。

会場 東京ビッグサイト (東展示棟)  
東京都江東区有明3-11-1

同時開催  
東京インターナショナル ギフト・ショー The 32nd  
The 12th LIFE×DESIGN GOURMET&DININGSTYLE SHOW  
Autumn 2022 LIVING & DESIGN  
住まいと暮らしのリノベーション TOTAL INTERIOR  
HOUSING HOTEL CONTRACT

ぜひ、ご来場ください! 招待状 請求は、こちらから (スマートフォンから)

パソコンは公式HPから → <https://www.giftshow.co.jp>

主催: (株)ビジネスガイド社 〒111-0034 東京都台東区雷門2-6-2 ぎふとビル  
インターナショナル・ギフト・ショー事務局 TEL 03-3843-9851 FAX 03-3843-9850

博覧会・展示会の企画に参画させて下さい。

**IIDAE**  
飯田電機工業株式会社

http://www.iidae.co.jp/

- イベント事業本部 〒136-0082 東京都江東区新木場1-8-21  
TEL 03-3521-3522 FAX 03-3521-3524
- 千葉事業所 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田2-38 幕張ビル  
TEL 043-273-2441 FAX 043-273-2531
- 池袋サンシャイン事業所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館3F  
TEL 03-3982-9551 FAX 03-3982-9564
- 大阪事業所 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル  
TEL 06-6543-2880 FAX 06-6543-2884
- インテックス大阪事業所 〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102 インテックス大阪内  
TEL 06-4703-5401 FAX 06-4703-5402
- 本社事業本部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 表参道IDAビル  
TEL 03-3409-3333 FAX 03-3409-0104
- 東北事業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-10-17 仙台一番町ビル6F  
TEL 022-716-2077 FAX 022-716-2078

□ 本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7  
TEL 03-3409-3331 FAX 03-3409-3827

展示会 イベント スケジュール は Web で 無料 の

イベントマーケティングウェブサイトへ  
<https://www.event-marketing.co.jp>

9月～12月の展示会・イベントスケジュール  
10月の展示会・イベント

東京・名古屋・大阪・神戸・京都版 全国版

2020年9月の展示会・イベント・国際会議スケジュール (全国版)

- 9月1日～3日 第13回ライフスタイル Week (国) 東京ビッグサイト
- 9月12日～14日 第9回日本国内流通展覧会 (国) 東京ビッグサイト
- 9月12日～14日 第12回 Japan Marketing Week (国) 東京ビッグサイト
- 9月21日～23日 第13回ライフスタイル Week (国) 東京ビッグサイト
- 9月21日～23日 第9回日本国内流通展覧会 (国) 東京ビッグサイト
- 9月21日～23日 第12回 Japan Marketing Week (国) 東京ビッグサイト
- 9月21日～23日 第13回ライフスタイル Week (国) 東京ビッグサイト
- 9月21日～23日 第9回日本国内流通展覧会 (国) 東京ビッグサイト
- 9月21日～23日 第12回 Japan Marketing Week (国) 東京ビッグサイト

イベマケスケジュール5つの特長

- ① 無料、登録不要で、いつでもアクセスできる。
- ② 一覧表と詳細表示が切り替えできる
- ③ 月ごと、地域ごと、毎週のスケジュールが確認できる
- ④ 展示会以外のイベント情報も掲載
- ⑤ イベント情報の掲載も無料

運営会社: 株式会社 MICE 研究所





高級牛皮名刺入れ

暮らし空間をデザインするプロダクト・サービスを提案。「DESIGN & CRAFT」「日本のモノづくり」「リノベーション & ライフスタイル」を軸に商材が集まる。

前回から開催し注目を集めた「サウナフェア」を今回も実施し、サウナ設備とグッズの両方を仕入れることができる貴重な機会となっている。例えば、ハウスメーカー the HOUSE が手掛けるサウナブランドが登場。100棟を超える住宅の設計、建築、リノベーションのノウハウを活かした本格派サウナとして「アウトドアサウナ」が出品される。また、



晴雨兼用傘

フィンランドの伝統の定番品、銅製のバケツ&ラドルセットをサウニア/SAUNIA が出展。ポップアップ式サウナテント「MUSHIBURO (蒸し風呂)」(プラウ PLOW) は5箇所の取っ手を引っ張るだけでカンタンにテントを設置できる製品など、22社の出展社によって多彩に展開される。

関連セミナーでは「JAPAN SAUNA-BU ALLIANCE」 「サウナの聖地『しきじ』の娘・笹野美紀恵氏」が登場。同エリアでは、サ飯 (サウナ終わりに食べるご飯) のフードトラック等さまざまなコンテンツを用

意する。

### 4つの特別イベントを用意

毎回、東京インターナショナル・ギフト・ショーでは、バイヤーが“今、欲しい!”という商品と情報を発信する特別イベント、コンテストが実施されており、今回も注目される。

東5ホールでは、「人と環境に配慮したエシカルスタイルの提案」として、エシカルをテーマに「ステナイ-資源を捨てない-」「ヤサシイカラダに優しい-」を体現する企画が展開される。

東1ホールでは日常生活の中で感じる“モヤモヤ”を解消する商品を集めた「モヤッ晴れ・ソリューション〜あったらいいな、こんなもの」を開催。

東3ホールでは、ギフト・ショーが提案する3つの「防 (防災・防犯・防疫)」を提案する「PROTECT YOUR LIFE 3防プロダクト展示」で、市場に向けて「備え」プロダクトを提案する。

東6ホールでは、海外販路拡大に貢献すべく新たな特別展示イベントとして「Ready to Export!」として、日本のアイデア雑貨や伝統工芸品など日本らしい製品にスポットを当て、海外バイヤーに向けて発信する。

なお、今回はコロナ禍に配信で展開していた開会式を久しぶりにリアルで実施する。開会式は初日9月7日の9時15分から北コンコースで行われる。



アウトドアサウナ

### ●2022年9月以降のビジネスガイド社主催展示会

会期	会場	展示会
2022年9月15日(木)~16日(金)	OMM2階展示ホール	第64回大阪インターナショナル・ギフト・ショー2022
2022年10月5日(水)~7日(金)	東京池袋・サンシャインシティ 文化会館ビル コンベンションセンター	第66回インターナショナル プレミアム・インセンティブショー秋2022
2023年2月15日(水)~17日(金)	東京ビッグサイト	第95回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2023
2023年3月8日(水)~9日(木)	みやこめっせ(京都市勧業館)	第4回京都インターナショナル・ギフト・ショー2023
2023年4月12日(水)~14日(金)	東京池袋・サンシャインシティ 文化会館ビル コンベンションセンター	第67回インターナショナル プレミアム・インセンティブショー春2023
2023年9月6日(水)~8日(金)	東京ビッグサイト	第96回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2023

### 販促・企業ギフトの展示会 10月5日から

販促・企業ギフト・マーケティングの国際的な専門見本市「第66回インターナショナルプレミアム・インセンティブショー秋2022」(PIショー)が10月5日~7日の3日間、東京・池袋のサンシャインシティ文化会館ビル コンベンションセンターで開催される。今回は「Z世代に向けた新たなマーケティング」をテーマに、90年代後半から2000年代前半に生まれた「デジタルネイティブ」世代のZ世代に向けた新たな手法を提案。

ジャパンレントオール株式会社 <http://japan-rent-all.com/>  
 関東支店 / 東京支店 / 名古屋支店 / 京都支店 / 関西支店 / 神戸支店 / 福岡支店

## イベント備品レンタル・設営

### オフィス家具レンタル開始

レンタルで初期投資を抑え、新しいオフィスを無理なくスタートできます!

(例) 社員数 15名	(例) 社員数 30名
・メッシュチェア 15脚	・会議テーブル(特注) 1台
・平机 10台	W4800×D1400×H750
・ワゴン3段 10台	・メッシュチェア(会議用) 20脚
・片袖机 5台	・ヘッド付メッシュチェア 1脚
・書庫 6台	・黒チェア 19脚
・ミーティングテーブル 2台	・黒チェア付付 10脚
・ミーティングチェア 10脚	・平机 20台
・ロッカー(12人用) 1台	・ワゴン3段 20台
・冷蔵庫 1台	・片袖机 10台
・電子レンジ 1台	・書庫 6台
・ハンガーラック 2台	・ロッカー(15人用) 2台
	・シュレッダー 1台
	・会議テーブル 3台
	・ミーティングチェア 9脚
	・ハンガーラック 4台
	・冷蔵庫 1台
	・電子レンジ 2台

計63点の備品 1ヶ月の支払い合計 レンタルなら!! **¥35,000** (税別)  
 社員1人あたりの経費 **わずか ¥2,333** (税別)

計129点の備品 1ヶ月の支払い合計 レンタルなら!! **¥79,000** (税別)  
 社員1人あたりの経費 **わずか ¥2,633** (税別)

※3年契約の場合

お電話でのご相談はこちら **0120-880-688**  
 受付時間 9:00-18:00 定休日 日曜・祝日

## イベント備品 レンタル・設営

屋内外イベント・展示会・ワクチン接種会場

### 業界屈指の在庫数!

テーブル・イス・アルミトラス・システムパネル・テント・ステージ・フェンス・バリケード  
 パーテーション・カラーコーン・スポットクーラー・ユニットカウンター・飛沫防止パネル・他多数!



# “光の祭典”世界へ発信

— TOKYO LIGHTS 2022- プロジェクションマッピング国際大会

“光の祭典”「TOKYO LIGHTS 2022- プロジェクションマッピング国際大会」が、9月17日から19日の3日間、明治神宮外苑 聖徳記念絵画館・明治神宮外苑 総合球技場軟式球場で開催される。

世界最大級のプロジェクションマッピング国際大会を軸とし、先進のエンターテインメントパフォーマンス、鮮やかな光のアートなどを体験

できる。

『TOKYO LIGHTS』は、昨年初開催され、東京の新しい風物詩として未来へのメッセージを発信するもの。TOKYO LIGHTSの「LIGHTS」には、未来の可能性を示す「ビジョン」、表現技術を示す「先進性」、これからを担う「人材」、それらを育み集まる「コミュニティ」など様々な意味が込められている。

今大会で10回目を迎える世界最大級のプロジェクションマッピング国際大会「1minute Projection Mapping Competition」には、世界55の国と地域から241組のエントリーが集まった。ファイナリスト作品は19作品が選出されており、最終日には授賞式でグランプリ他、優秀作品を表彰し、その様子は全世界へLIVE配信される。



9月17日から3日間開催される「TOKYO LIGHTS2022- プロジェクションマッピング国際大会」

Pick up the Words!

## バーチャル上でのコミュニケーションを考察



メタバース会場「V-expo」内からレポートにトライ

7月28日にAP新橋とメタバース会場のハイブリッドで開催された「新しい明日」との出会い展。今回は、メタバース会場「V-expo」上から進行役の2人がアバター姿で登場。メタバース会場での展示会風景や音声チャット機能を使ったレポートにチャレンジ。撮影役もアバターで会場に入りした。メタバースのビジネス利用としてイベント、ワークスペースなど様々に登場しているが、実際に体験してみると気づきが多く、利用者がバーチャル空間に慣れが必要期間ではないかと考察。「バーチャル上でのコミュニケーションを発明している段階で、ビジネス空間でもジャンプや体当たりして情報が出るなど、ゲーム性のある仕掛けがあっても面白い」とした。(8月5日の配信より)

7月28日にAP新橋で行われた「新しい明日」との出会い展」のメタバース会場からレポートにチャレンジしたコースケさんアバター（左：オレンジ色のシャツ着用。イベントレジストCEO・ヒラヤマコウスケさん）とよーこアバター（右：ツインテール。イベントマーケティング編集長・樋口陽子）。中央のタキシード姿のアバターはミーティングスペースAPのブースアテンドをした森田将司さん（TCフォーラム）。



月刊イベントマーケティングの公式YouTubeチャンネルでは、イベント関連キーパーソンをゲストに招いて「コースケ・よーこのミュートを解除!」を毎週金曜日の12時から30分お届けしています。8月の配信では、8月19日に「通算100回記念の前夜祭」、8月26日に「通算100回記念・公開配信」を行いました!

## ad:tech tokyo 前日に —BtoB Marketers' Summit

ad:tech tokyo を主催するComexposium Japanは新たなイベント「BtoB Marketers' Summit」を10月19日にザ・リッツ・カールトン東京で開催する。BtoB領域におけるマーケティングの注目が高まり、Brand Summit や ad:tech tokyo にも参加が増えていることを受け、ad:tech tokyo と連動し、前日に行われる。

Keynote にはマサチューセッツ工科大学のディレクターが登場。



## 誘致合同チームを発足 — Team OSAKA MICE

大阪観光局は7月20日、2025年万博を契機とした、大阪へのMICE誘致合同チーム「Team OSAKA MICE」の発足を発表した。参加企業団体は、コングレ、コンベンションリンク、JTBグループ、日本コンベンションサービス、インテックス大阪、グランキューブ大阪、ホテルニューオータニ大阪、リーガロイヤルホテル、大阪観光局。



最短5日間から利用可能。  
どんな場所からでもアプローチ。  
商談のチャンスを逃さない。

今なら  
5万円引き  
キャンペーン  
実施中

SAPI-MO 広報部長  
さびもん

プロにお任せ、リモート接客  
サピモ

SAPI-MO

人材・機材・システム・通信機能がまるっとセットに

お問い合わせ [sapi-mo@sapient-inc.co.jp](mailto:sapi-mo@sapient-inc.co.jp)

株式会社サピエント  
TEL:03-5962-4150 FAX:03-5962-4576  
<https://sapi-mo.com/>

令和2年度 第3次補正 事業再構築補助金により作成

# イベントの成果を 最大化する

# イベント・アーカイブス

取材 記事作成 写真撮影 動画撮影 ニュース配信

イベント専門出版社の取材力と発信力、撮影・編集のプロフェッショナルとのネットワークを活かし、自社セミナー、新商品発表会、展示会出展などの、プロモーションの様子を再編集し、アーカイブ・編集することで、イベントの出展効果を最大化できます。

イベント・アーカイブスについてのお問合せは  
株式会社 MICE 研究所  
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABC ビル 5F  
TEL 03-6721-5303 / [info@event-marketing.co.jp](mailto:info@event-marketing.co.jp)  
<https://www.event-marketing.co.jp>